

第1回協議会だより 《中方部》



—令和4年6月14日（火）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 郡山市立薫小学校

「幼保小連携を見通した薫小の実践」



薫小学校の実践発表では「幼・保・小連携推進事業の活動」と「新型コロナウイルスへの対応」の2点について、具体的な活動内容が紹介された。「幼・保・小連携」では、入学予定児童の個別質問票を作成し、生活習慣や特性などについて丁寧に聞き取りを行って状況把握をする等、幼保との情報共有を密に図っていることが紹介された。また、「新型コロナウイルスへの対応」については、感染防止対策を講じた行事の運営についての説明があり、広い場所（開成山陸上競技場）を活用した運動会や持久走記録会の実施、授業参観の分散開催、卒業証書授与式の終了後に5年生が鼓笛の演奏で見送る様子などが紹介され、それぞれの行事で薫小の工夫と児童に対する熱い思いが伝わった。これらの行事の持ち方は、協議会の中でも話題となり、今後の行事の在り方を再考するきっかけとなった。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 薫小学校の発表について

- ・入学児童の聞き取り調査やスタートカリキュラムの作成、環境設定等、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、きめ細やかに対応しており、幼保としても安心しました。
- ・読書の機会をより多く設けるために、移動式の本棚を使用している事例は、大変参考になりました。
- ・タブレットを活用した「楽しい・分かる」学習指導方法は大変参考になりました。

☆ アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について

- ・幼・保・小とも子どもたちが安心して生活できる環境設定が必要で、そのためには互いに連携して進めていくことが重要であると思う。
- ・アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムは各施設で作成しているが、互いに内容が共有されていないことも多いので、情報の共有が必要である。

☆ コロナ禍における保育（教育）の取り組み

- ・マスク着用で子どもに「話が伝わり難いのでは」「聞こえが悪いのでは」と不安になるため、丁寧な関りが大事である。

《参加者からのアンケートから》

- ・入学した子どもたちが学校でどのように過ごしているか不安もあったが、薫小学校の事例を聞いて、小学校全体で子どもたちのために手厚い配慮がされていることを知りました。（幼稚園：女）
- ・幼保や小学校のこともよく実態を理解できていないまま、生徒に対応していたことが自分の課題であり、今回の協議会で、より配慮された授業、生活指導をしていくべきと考えた。（中学校：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。